

# 参加型音楽会に演奏曲をリクエスト! 子どもクラシック・カフェ



室内オーケストラと、合唱団も擁する 大阪コレギウム・ムジクム

『大阪コレギウム・ムジクム』のバリエーションに富んだ編成による室内楽と合唱の豊かなハーモニーに包まれて、心ときめく音楽の世界に憧れと想像を楽しく巡らすひととき。  
魅力あふれる器楽アンサンブルと歌の世界を楽しむとともに、子どもたちも演奏を体験できる参加型音楽会で豊かな創造性を育みましょう。お申込みの際にお寄せいただく演奏曲のリクエストにもお応えします! どの曲が演奏されるかは、開催当日のお楽しみ。

とき 下表参照    ところ 大阪大会会館(豊中市待兼山町1-13)    演奏と進行 一般社団法人 大阪コレギウム・ムジクム


催事番号	開催日	時間	対象<定員>	内容	編成
B-①	2018年 2月17日(土) ※B-①とB-②は 同一内容	11:00   12:00	0歳~就学前の 子どもと保護者 <120人>	<b>■名曲鑑賞</b> ・ヴィヴァルディ作曲:「四季」より「春」 ・ディズニー:小さな世界 ほか ・リクエストによる演奏曲…開催時に発表! <b>■演奏にも参加</b> ○音楽あそび ○リズムあそび ・「千と千尋の神隠し」より「いつも何度でも」 ・青島 利幸 作詞/赤坂 東児 作曲:新幹線でゴー!ゴ・ゴー! ほか	◇室内楽:8人 (ヴァイオリン2、ヴィオラ2、チェロ、 コントラバス、フルート、ピアノ) ◇合唱:25人 (ソプラノ、アルト、テノール、バス) ◇指揮:1人・進行:2人
B-②		14:00   15:00			
B-③	2018年 2月24日(土)	14:00   15:30	小学生以上の 子どもと保護者 <200人>	<b>■名曲鑑賞</b> ・バッハ作曲:「ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲」より ・ヴィヴァルディ作曲:「四季」より「春」 ・柴田 南雄 作曲:追分節考 ほか ・リクエストによる演奏曲…開催時に発表! <b>■演奏にも参加</b> ○ハーモニーの体感 ○音の強弱、テンポなど音楽表現のレッスン ・杉本 竜一 作詞/作曲:トゥモロー ・岡田 雷美子 作詞/東海林 修 作曲:怪獣のパラード ほか	◇室内楽:10人 (ヴァイオリン4、ヴィオラ2、チェロ、 オーボエ、クラリネット、ピアノ※) ※1920年製ベーゼンドルファー・ピアノを使用 ◇合唱:30人 (ソプラノ、アルト、テノール、バス) ◇指揮:1人・進行:2人

※ 曲目、演奏者の編成等、上演内容は変更されることがあります。

一大阪コレギウム・ムジクム代表で指揮者の当間修一さんにお聞きしました—  
子どもたちにこそ、心ときめく音楽体験を!

自然に触れ、生き物に触れ、音楽や音に触れ、人の様々な営みにたくさん触れることにより、感情が豊かに育ちます。そこから命の尊厳が生まれ、他者の大切さにも気づき、希望に溢れた社会が形成されていくと思います。ワークショップなどでも、子どもたちはそれぞれの個性により、積極的だったり、最初は消極的気味だったりしますが、演奏者側が近づいて、一人ひとりの個性にきっかけを与えると、その可能性は瞬間にどんどん広がって、自発的な行動へと変わっていきます。決まったプログラムだけではなく、自由に、子どもたちと一緒に創っていく時間を大切にすることで創造性は何倍にも膨らんでいくのです。器楽や合唱の「アンサンブル」は協調しながら行う、大変難しく、かつ楽しいもの。合わせるだけでなく、

専門家のアドバイスによって工夫することで、その喜びはさらに大きなものとなります。幼い頃からこういった体験をすることはとても重要だと思います。緑豊かな豊中市の自然を残しながら、明るくあたたかい街づくりを大人の我々がしっかりと意識し、子どもたちの個性が尊重される大切さを考えつつ、創造性を育んでいければと思います。



## 一般社団法人 大阪コレギウム・ムジクム

指揮者の当間修一により昭和50年(1975年)に創設。室内オーケストラ「シンフォニア・コレギウム OSAKA」と合唱団「大阪ハイソニック・シュツツ室内合唱団」、大阪コレギウム・ムジクム合唱団からなる。レパートリーはルネサンス音楽から現代音楽まで広範にわたり、6回に及ぶドイツ、イタリア等ヨーロッパ公演においてもその透明なハーモニー、内容に迫るメッセージ性が各新聞評で絶賛された。通算400回を超えるマンスリー・コンサートやいずみホールでの定期公演をはじめ、全国各地で活発な演奏活動を続け、国内外で高い評価を得ている。平成8年大阪文化祭奨励賞、平成10年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、平成13年ABC音楽賞「リスタル賞」、平成23年大阪文化祭賞グランプリを受賞。平成26年当間修一が「第49回大阪市市民表彰」文化功労部門にて表彰される。

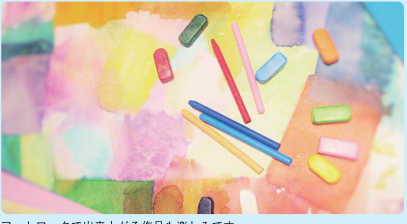


**大阪大会会館**  
(本公演と、「聴いて 描いて 遊ぶ 音の風景」(6ページ)の会場)  
大阪大学豊中キャンパスの現存する建物では最も古く、昭和3年(1928年)に旧制浪速高等学校の校舎として建てられたものです。当時のモダニズムの潮流のもと、建物内外の随所にアール・デコ調の意匠がちりばめられた貴重な国登録有形文化財。



**ベーゼンドルファー・ピアノ**  
(本公演の催事番号B-③と、「聴いて 描いて 遊ぶ 音の風景」(6ページ)で演奏)  
大阪大会会館の改修工事の完成(平成23年(2011年))に合わせて講堂に備え付けられたもので、同会館の建築時期とも近い1920年に音楽の都・ウィーンのベーゼンドルファー社で製作。その色彩感あふれる美しい音色は「フィンカートーン」といわれます。

# 最先端の学びをアートワークで体感 アートで楽しく育む知力



アートワークで出来上がる作品も楽しみます

描画、色彩構成、ダンス、動きや身振りなど、様々なアート表現を通じて、算数や国語など必須教科の大事な習得事項や造形の基礎等を学ぶ楽しさを体感し、対話も大切にしながら仲間とともに成長する喜びを見つけましょう。



中庭に陽光ふりそそぐ豊中市すこやかプラザ

とき 下表参照    ところ 豊中市すこやかプラザ(豊中市岡上の町2-1-15)  
ファシリテーター 檜森 秀子(NPO法人 アートワーク・ジャパン 副理事長/日本女子大学 非常勤講師)    アシスタント、サポート・スタッフ 同NPOメンバー 3人


対象 <定員>	時間	時限	催事番号	2018年3月24日(土)	催事番号	2018年3月25日(日)
				教科等のねらいとアートワーク		教科等のねらいとアートワーク
就学前の 子どもと保護者 <30人>	10:30   11:30	—	C-① ※※	【かたち/手先の巧みさ】 「指先の巧緻性」を高めながら紐遊びで覚える「図形」(1)	C-③ ※※	【かたち/手先の巧みさ】 「指先の巧緻性」を高めながら紐遊びで覚える「図形」(2)
				【算数】 体の動きと両手を使った描画で理解する「線対称」		【国語】 アート・カードで育む「語彙力・表現力」
				【算数】 体の動きと両手を使った描画で理解する「点対称」		【算数】 ダンスで学ぶ「円の特徴」
小学生の 子どもと保護者 <30人>	13:30   14:15	第1時限	C-②	【国語】 折り紙の色彩構成で体得する「聴く力・説明する力」	C-④	【コミュニケーション】 グループで仲間と絵を描いて味わう「協働」の楽しさ、「表現」の喜び
		14:25   15:10		第2時限		【算数】 体の動きと両手を使った描画で理解する「円の特徴」
		15:20   16:05		第3時限		【算数】 体の動きと両手を使った描画で理解する「点対称」

※※ お子さんと一緒に、保護者の皆様も活動にご参加ください。

※ アートワーク等の内容は変更されることがあります。

—ファシリテーターの檜森秀子さんにお聞きしました—  
アートで体感する学びの深化 生きる力の涵養

感性とはものごとに触れたときに心が感じる、心が動く、意識が動くというレベルではなく、深い理解がもたらされるのです。そして、子どもたちはアートの体験を通して、自ら考え、答えを見つけながら自立心を育むとともに、他者に受け入れられたり、他者を尊重する経験に学びます。そのように多様性を認め、人と協働で何かを作り上げる能力は、将来にわたり生きる力になると思います。学校教育の場ではなく、自治体がこうした創造性を育む活動を推進していることに大きな意義を感じます。




**檜森 秀子**  
東京学芸大学教育学部卒業。東京都で小学校教員を勤めるなか、アートを学びに活かす「アーツ・インテグレーション」に出会って感動し、日本女子大学准教授、臨床心理士の小野京子とともに、アートを用いた学びを研究する。NPO法人アートワーク・ジャパン(代表:小野京子)を設立。在職中は公立学校に海外のティーチング・アーティストを招き授業を実施するほか、都の教員研究生として特別支援教育の研究にも携わり、個性に応じた学びにアートを採り入れることで大きな成果をあげている。

**NPO法人 アートワーク・ジャパン**  
アートワーク・ジャパンは、アート表現を用いて教育、医療、福祉の分野で、創造性の向上、人生の質(クオリティ・オブ・ライフ)の向上、人格の成長、コミュニケーション等の向上を促進する活動を行います。さらに子どもや青少年の学習能力の向上と心の健全育成、成人や高齢者の心身の健康増強を推進することを目的とし、そのための人材育成も行います。視覚アートやダンス、音楽、ドラマ、文芸などを通して表現することは、人に様々な好ましい変化をもたらします。アート表現を授業やプロジェクトチームに採り入れることで、学習・チーム力の向上を促進します。